

事務事業評価表 平成23年度

政策 政策の総合推進
 施策 施策の総合推進その5
 基本事業 施策の総合推進その5

事業名 **江別及び野幌屯田兵村開村記念祭典委員会補助金**

[0595]

部名	総務部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	総務課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>江別屯田兵村開村記念祭典委員会及び野幌屯田兵村開村記念祭典委員会</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>屯田兵村開村記念祭を開催し、まちの基礎を築いた屯田兵村の歴史を伝えることにより、屯田兵村についての市民の認識を深める。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>屯田兵村開村記念祭(式典と祝賀会)を開催するため、江別屯田兵村開村記念祭典委員会及び野幌屯田兵村開村記念祭典委員会へ補助金を支出する。 江別屯田兵村開村記念祭は、例年5月27日に開催 野幌屯田兵村開村記念祭は、例年7月1日に開催</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	委員会構成委員数	人	12	12	12	12
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	798	799	799	800
活動指標2						
成果指標1	屯田兵村開村記念祭の出席者数	人	72	66	78	80
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	798	799	799	800
正職員人件費(B)		千円	1,254	2,489	2,418	2,444
総事業費(A)+ (B)		千円	2,052	3,288	3,217	3,244

費用内訳	
22年度	負担金 補助及び交付金 799千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	昭和38年に江別屯田兵村、昭和41年に野幌屯田兵村が解散した際に、市は土地、建物、現金等の財産の寄付を受けたが、寄付の付帯条件として以後毎年開催する兵村開村記念祭に補助金を支出することとされた。	事業を取り巻く環境変化	子孫の高齢化や転出等により 記念祭典への出席者が減少傾向にある。4代目以降の世代は先祖との直接の関わりが少ないため、意識も異なると思われる。
--------	---	-------------	--

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由
・
根拠は？

江別の本格的な開拓は屯田兵の入地によって行われたものであり、まちの基礎を築いた屯田兵村の歴史を伝えることにより、郷土への誇りと愛着を育て、江別の歴史と文化を活かしたまちづくりを進めることに寄与するものである。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

兵村開村記念祭を開催し、屯田兵村の歴史を伝えることにより、江別の歴史と文化を活かした個性的なまちづくりを進めることにつながっているが、間接的な寄与である。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由
・
根拠は？

毎年の兵村開村記念祭の開催により、先人への感謝と郷土への愛着を醸成することに寄与している。

(4)成果が向上する余地(可能性)は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

学校授業等で郷土の歴史を学ぶ機会があり、屯田兵村についての市民の認識はか
なり進んでいる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか？(受益者負担含む)

ある

ない

理由
・
根拠は？

兵村開村記念祭典委員会及び出席者の自己負担による記念祭の開催ができない
か検討する余地はある。